

「両周金文研究会会報」編集規程

(1) 本誌は、両周（西周・東周）及び秦の時代を中心として前後の時代を含む、歴史学・考古学・哲学思想・古文字学・書道・文化等に関する研究論文、研究ノート等を編集発行し、日本における中国学・東洋学、東アジア地域研究の発展に寄与することを目的とする。

(2) 本誌は、東京学芸大学先端教育人材育成推進機構の下田誠研究室の研究報告として、原則として年1回発行する。

(3) 本誌は「両周金文研究会会報」編集委員会が認めた者の研究論文等を掲載することができる。研究論文等の掲載を希望する者は、原稿を「研究論文等募集要項」に従い、定められた期日までに東京学芸大学先端教育人材育成推進機構の下田誠研究室宛に送付するものとする。

(4) 「両周金文研究会会報」編集委員会は、研究室教員を委員長とし、委員長が必要に応じて依頼する専門研究者若干名から構成する。

(5) 投稿論文の掲載可否の判断は「両周金文研究会会報」編集委員会が行う。編集委員会は、原稿の修正を求めることができる。

(6) 本誌掲載の論文等は、下田誠研究室の開設するウェブサイトにおいて電子化のうえ、公開されることがある。ウェブサイトでの公開に際しては別に所定の手続きを行う。

研究論文募集要項

(1) 原稿の種類は下記の表の通りとし、いずれも未発表未刊行のものに限る。申込時には掲載カテゴリーは設けず、掲載可否は編集委員会が総合的に判断し決定する。

種 類	内 容
論 文	オリジナルな研究成果をまとめたもの、あるトピックに関する体系的な解説や研究動向の整理、今後の研究枠組み等の提案・展望を行なったもの等
研究ノート	研究の中間報告、新たな研究方法、実践の事例の紹介等
その他	本誌に掲載がふさわしいと編集委員会において判断された上記以外の研究情報や資料紹介、訳注、書評、新刊紹介、各種報告等

(2) 投稿スケジュール

1. 執筆申込締切：毎年7月31日

以下を明記のうえ、下田誠（shimoda■ur-gakugei.ac.jp ※■を@マークにかえてください）宛にメールで送付してください。

- (1) 執筆者氏名
- (2) 所属
- (3) 論文執筆題目
- (4) 連絡先（確実に連絡の取れるものを記入すること）

メール：

Tel&Fax

住所：

(5) 掲載時に電子化による公開のフォームに可否をご記入ください。

2. 原稿申込締切：毎年9月30日

(3) 原稿は、「論文」については400字詰め原稿用紙換算で60枚以内（図表及び注記を含む）、ワープロによってA4判横書き、40字×30行（20頁以内）で完成させることとする。「その他」についてはその限りではない。

(4) 原稿のフォントは、原則として和文はMS明朝、欧文はCenturyを使用する。ただし著者が適切と考える場合には、別のフォントを用いてもよい。

(5) 参考文献の表記は、原則的に以下に従うこととする。ただし著者が適切と考える場合には、別の記述形式を用いてもよい。

例：学芸太郎『△△△△△』××出版、2002年

例：学芸太郎「○○○○○」国立一郎編『△△△△△』××出版、2002年、YY-ZZ頁

(6) 原稿は、図表のレイアウト等を含め、完成原稿で提出するものとし、校正の際は原則として誤字・脱字以外の訂正を認めない。図表は白黒のみとし、カラーによる原稿・図表は受け付けない。なお、校正は初校のみ著者校正とする。

(7) 原稿提出先：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構 下田誠研究室

Tel&Fax : 042-329-7777

E-mail : shimoda■u-gakugei.ac.jp

※■を@マークにかえてください

2022年4月24日制定

2023年4月25日改正

「両周金文研究会会報」編集委員会

下田 誠（東京学芸大学 委員長）

佐々木 研太（東京学芸大学）

山本 堯（泉屋博古館）

小倉 聖（大東文化大学等）